

平成 28 年度 島根県学力調査結果の概況について<江津市>

1. 小学校

【各教科調査結果】

国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きについては、概ね定着が見られる。 ・ローマ字のつづりや文の構成（主語・述語の関係【小3】、修飾・被修飾の関係【小4】）に関する事項について課題が見られる。 ・目的や必要に応じて文を引用したり、図表やグラフを用いたりして自分の考えを書くことに課題が見られる。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を関連付けながら情報を読み取ることに課題が見られる。 ・記述を求める問題への無解答率が高くなる傾向が見られる。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・計算問題については、概ね定着が図られている。 ・計算のあやまりを指摘する問題【小3】の正答率が低い。 ・「量と測定」に関わる領域について課題が見られる。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・実験器具等の操作については、概ね理解している。 ・日常の現象等を科学的な言葉を用いて説明することに課題が見られる。 ・目的に合わせて実験観察方法を考えることについて課題が見られる。

【意識調査結果】

強 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ものごとを最後までやりきる喜びを感じている。 ・人に役に立ちたいという想いをもっている。 ・自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいると感じている。 ・授業の中で自分の考えを発表したり、友だちと話し合ったりする活動がよく行われていると感じている。 ・授業の中で、めあてが示されたり、ふり返ったりする活動が行われている。 ・やってきた宿題を丁寧に見てもらっていると感じている。
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えようとする児童が少ない。 ・「総合的な学習の時間」に自分で課題を立てて情報を集めたり、整理し考えたりする学習が十分に取り入れられていると感じていない。 ・携帯電話、スマートフォンの利用時間が増えている。

2. 中学校

【各教科調査結果】

国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きについては概ね定着している。 ・言葉のきまりに関する事項（単語、文節、品詞）の理解について課題が見られる。 ・自分の考えや気持ちについて、根拠を明確にして書くことに課題が見られる。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料から読み取り、社会的事象と比較・関連付けて考察することに課題が見られる。 ・記述を求める問題への無解答率が高くなる傾向が見られる。

数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学に関する事柄等（解、最頻値、中心角）の意味理解が十分でない。 ・「図形」における公式等の定着が十分でない。 ・記述式問題の無解答率が高い。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・「生物的領域」に関して概ね理解している。 ・「水溶液の濃度」や「圧力」等の計算を求める問題に課題が見られる。 ・日常の事物や現象について原理を示しながら説明することに課題が見られる。
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・英文を読み取り、適する場面や正しい語を選択することは概ねできている。 ・文脈に適する単語を書いたり、与えられた情報をもとにまとまりのある英文を書いたりすることに課題が見られる。

【意識調査結果】

強 み	<ul style="list-style-type: none"> ・ものごとを最後までやりきる喜びや人に役に立ちたいという思いをもっている。 ・自分の考えや気持ちを理解してくれる友だちがいる。 ・授業の中で、めあてが示されている。（昨年度より改善） ・授業の中で自分の考えを発表したり、友だちと話し合ったりする活動が行われていると感じている生徒が増えている。
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、学習したことをふり返る活動が十分に行われていると感じていない。 ・「総合的な学習の時間」に自分で課題を立てて情報を集めたり、整理し考えたりする学習が十分に受け入れられていると感じていない。 ・学習したことが、普段の生活のなかで活用できないか考えようとする意識は低い。 ・小学校と比較し、家庭学習の仕方についての指導が行われていると感じている生徒が少ない。 ・小学校と比較し、携帯電話スマートフォンの利用時間が顕著に増えている。

3. 改善策について

◇課題の把握

各校において単元や領域の弱みについて把握し、補充学習の実施等組織的な対策を立てて児童生徒への学習内容の定着を図る。また、次年度の担任及び教科担当者へ対策を引き継ぎ、改善を図る。

◇指導の改善

平成 28 年度全国学力・学習状況調査結果の分析から作成した各校の「授業改善アクションプラン」について、県学力調査結果より指導効果の検証を行う。併せて、「生活・学習に関する意識調査」の結果から児童生徒の意識もふまえながら指導方法等に対する改善を図る。

◇学校訪問の実施

指導主事による県学力調査結果をふまえた指導改善に関わる学校訪問を市内全校において実施し、組織的授業改善や個別指導の充実に向けて働きかける。

参照：「平成 28 年度県学力調査結果概要」島根県教育委員会

http://www.pref.shimane.lg.jp/education/kyoiku/ikusei/chosa/H28_gakuryoku.html